

# 学校教育自己診断 教職員者用集計結果

		令和元年度	
		全体 数	割合
学校の教育目標が共有され、全員で協働して、 組織的に教育活動に取り組んでいる。	①	7	13.5%
	②	26	50.0%
	③	15	28.8%
	④	4	7.7%
学校にはPDCAサイクルに沿った改善思考が浸透している。	①	3	5.8%
	②	19	36.5%
	③	26	50.0%
	④	4	7.7%
学校は生徒の学力伸長や進路実現のために 一体となって取り組んでいる。	①	11	21.2%
	②	27	51.9%
	③	11	21.2%
	④	3	5.8%
学校は生徒の健康や安全に十分配慮している。	①	16	30.8%
	②	30	57.7%
	③	5	9.6%
	④	1	1.9%
学校は新たな課題や生徒の実態に対して 適切に対応している。	①	9	17.3%
	②	28	53.8%
	③	12	23.1%
	④	3	5.8%
学校の特別活動や部活動は人間力を 育成する上で大きな意味がある。	①	36	69.2%
	②	14	26.9%
	③	2	3.8%
	④	0	0.0%
学校の教育相談体制は十分に機能している。	①	15	28.8%
	②	30	57.7%
	③	7	13.5%
	④	0	0.0%
学校の人権教育体制は十分に機能している。	①	6	11.5%
	②	25	48.1%
	③	20	38.5%
	④	1	1.9%
学校は特色や教育活動を保護者や社会に 発信するように努めている。	①	9	17.3%
	②	35	67.3%
	③	7	13.5%
	④	1	1.9%
各教科において学習指導計画や評価について 十分な議論がなされている。	①	10	19.2%
	②	24	46.2%
	③	15	28.8%
	④	3	5.8%

# 学校教育自己診断 教職員者用集計結果

		令和元年度	
		数	割合
自分は指導内容・方法など工夫・改善をおこない、 生徒の意欲喚起に努めている。	①	21	41.2%
	②	27	52.9%
	③	3	5.9%
	④	0	0.0%
教授法や教材研究など自己研鑽の時間や 生徒と向き合う時間が確保できている。	①	7	13.7%
	②	19	37.3%
	③	17	33.3%
	④	8	15.7%
校長は教職員が気持ちよく教育活動に 取り組めるように学校経営に努めている。	①	9	17.3%
	②	28	53.8%
	③	8	15.4%
	④	7	13.5%
校長はめざす学校像を実現するために リーダーシップを発揮している。	①	8	15.4%
	②	31	59.6%
	③	8	15.4%
	④	5	9.6%
総合的に見て、寝屋川高校は 高い教育力を発揮している。	①	6	11.5%
	②	34	65.4%
	③	10	19.2%
	④	2	3.8%